

NSC2型 振動吸着シリンダー

特許申請中

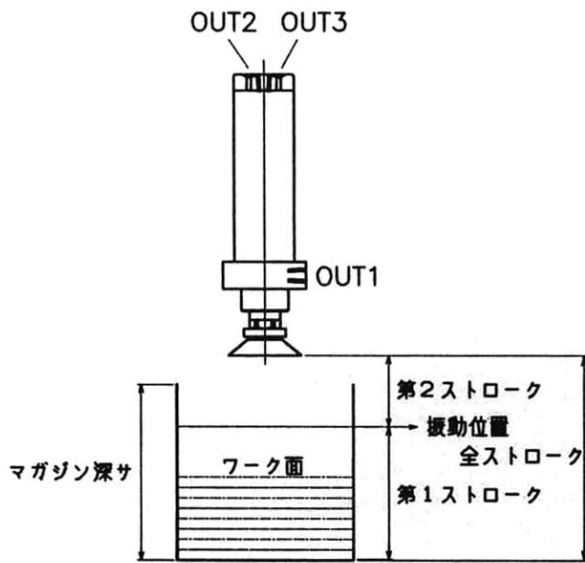
■ 概要

今までの機能に加え2枚取り防止機能を追加！

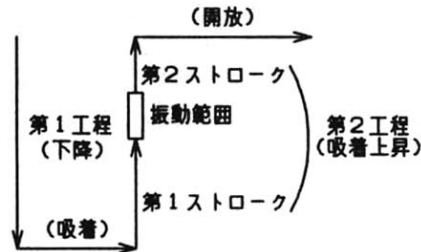
■ 特長

ワークを吸着すると上昇端より約30mm下でバイブレーションを起こし
負圧・静電気・バリ等のため付着しているワークを強制的に振り落とします。
(バイブレーションはニードル弁にて調整可能)

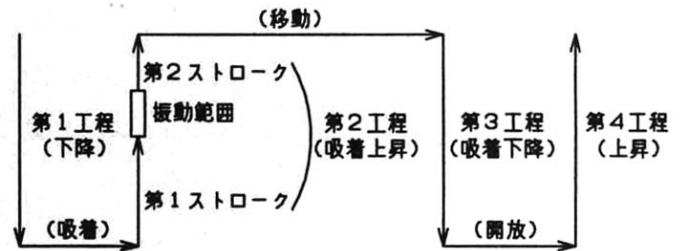
■ 作動説明



単動型



複動型



単動型

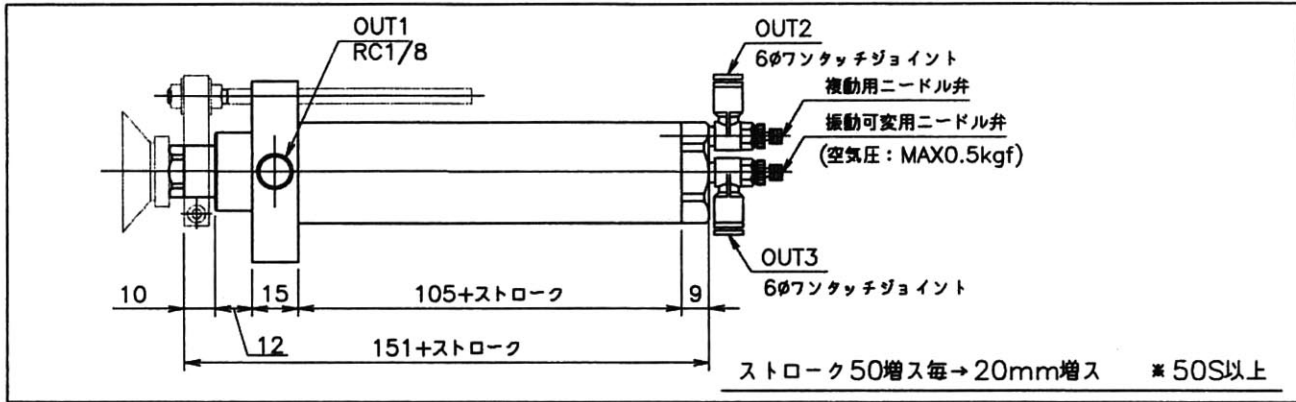
- (1) OUT1よりエジェクタを通じて配管し、加圧（電磁弁②の01を通电）するとエジェクタの作用によりピストン下部が真空圧になりピストンロッドが下降する。この時ロッド内部を通してゴムパッドからも吸引している。同時にOUT3より減圧弁を通じて配管し、加圧（電磁弁②の02通电0.3~0.5 kgf/cm²G）する。（同時通电）裏面配管図参照
- (2) ゴムパッドが、吸着物に触れるとエアセンサーの働きによりピストン上部、ロッド内部も大気圧から真空圧に変化し、同時に吸着ミスがないか自己確認して吸着上昇する。（同時通电のまま）
- (3) 第2ストロークまで吸着上昇した所でOUT3からの働きによりバイブレーションを起こす。（同時通电のまま）
- (4) 電磁弁②の02を停電させるとバイブレーションが、止まり吸着上昇する（電磁弁②の01のみ通电）
- (5) 電磁弁②の01を停電させ大気圧を入れると吸着物は落下する。

複動型

- (1) OUT1よりエジェクタを通じて配管し、加圧（電磁弁③の01を通电）するとエジェクタの作用によりピストン下部が真空圧になりピストンロッドが下降する。
以下単動型と同じ。
- (2) 単動型と同じ。
- (3) 単動型と同じ。
- (4) 単動型と同じ。（電磁弁3の01のみ通电）
- (5) 電磁弁③の01に通电したままOUT2より加圧（電磁弁③の02を通电）すると、吸着したまま吸着物をテーブル等の上まで下降する。
- (6) 電磁弁③の01、02を停電させ、OUT1より大気圧を入れると吸着物をテーブル等に開放しピストンロッドはスプリングリターンする。

日精工機株式会社

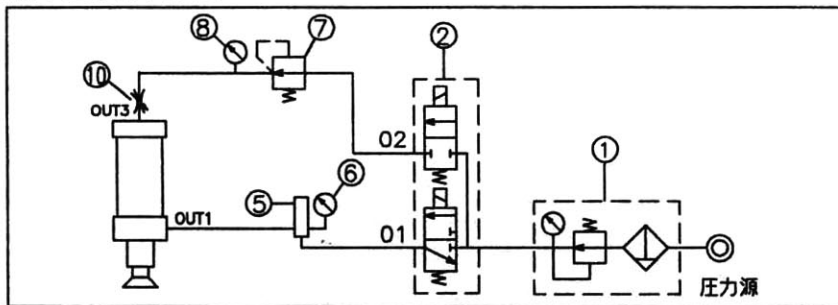
■ 寸法図



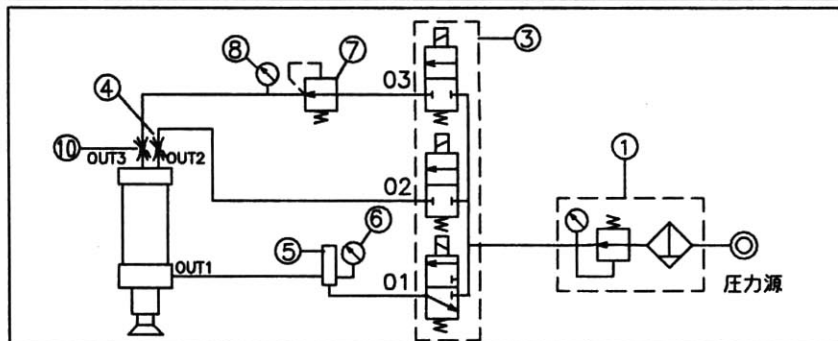
■ 操作用機器の配管

※エジェクタをシリンダーにニップルで直結して下さい。尚、取付空間が無い場合は電磁弁に直結し、チューブ長さを1.5m以下にして下さい。

単動型



複動型



■ 操作用機器の型式と名称

(他社メーカー製品とは構造が異なりますので必ず弊社製品を御使用下さい)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| ① NS3R21F-8A-GB | フィルター付減圧弁 (10kg f/cm ² 圧力計付・取付ブラケット付) |
| ② NS7M31W-8A | 複式マニホール電磁弁 AC100V・AC200V・DC24V (DC24Vの時白線 ⊕ 青線 ⊖) |
| ③ NS7M31T-8A | 複式マニホール電磁弁 AC100V・AC200V・DC24V (DC24Vの時白線 ⊕ 青線 ⊖) |
| ④ ⑩ SCA8A | ニードルバルブ (本体に取付 20g) |
| ⑤ NSV-20型 (24型) | エジェクタ |
| ⑥ 40φ × 76cm Hg × 1/8 | 真空計 (取付ジョイント付) (吸着時の真空圧 20cm Hg ~ 40cm Hg) |
| ⑦ NS2019-6A | 減圧弁 (ノンリリーフ型) |
| ⑧ 40φ × 10Kgf/cm ² × 1/8 | 圧力計 |

■ 御注文時の仕様について

(例) NSC2- **S** **R10** **2** **K** - **28** - **50** - **40** - **g** - **V**

- | | | | | | | | |
|------------------------------|---|-----------------|----|-------|------|--------|-----|
| 作動型式
(S = 単動型
W = 複動型) | スイッチの電圧
(R 10 = AC100V
R 20 = AC200V
R 24 = DC24V) | 回転レス型
不要は無記入 | 内径 | ストローク | パッド径 | 吸着物の重さ | パイプ |
| | スイッチ個数 | | | | | | |